

書類番号 : 創研-DB10-070 NC

作成日 : 平成22年5月10日

□ 出張報告書

■ 会議議事録

住友精密工業株式会社

件名

5月度創研部内会議(社外秘)

部課名	認可	審査	作成
創事業研究部			高橋 (教)

日 時	H22.5.10(月) 15:00~16:30	場 所
出席者	前野常務、高橋部長、八木技師長、菊池次長、川上技術主幹、庄谷技術主幹、吉田M、高祖ラボ長、佐藤M、折島M、内田G長、高橋(記)	
関連資料		
配布先	出席者 x 1、上森M	

1. 共通事項

- (1) MEMS 事業開発室 09 下期開発成果報告会(5/14 15:00~)出席希望者は小巻室長まで申し込みのこと。
- (2) 職務記述書改訂: 橘 AM の位置を変更の上、登録のこと。他に変更が必要であれば、菊池次長まで。
- (3) 営業業務フロー規程の準備開始: 内部統制法適用に備えて 2012 までに営業業務フローの規程整備完了が必要の為、菊池次長を中心に準備チームを発足した。

2. 産業機器チーム:

2.1. マルチプローブ

- (1) 3D Beans プロジェクトにて装置引き合い:コストダウン・アイデア盛り込みで 3000 万円にて入札予定。

2.2. 大気圧プラズマシリコン結晶化装置

- (1) 埼玉大学 白井先生と協議。6 月末までを目標に諸件クリアにしていこう。

2.3. TSV埋込装置開発

- 2.4. 社内試験を実施。ナプラ製ハンダの入手が必要。

3. SOFC

- (1) 小型・低コスト化については、技術的に安全サイドの設計から、コストに見合った設計に適宜変更検討中。中でもセル・スタックの低コスト化を検討中。ノリタケがどこまで低コスト化に真剣に対応してくれるかがキーとなっている。
- (2) 特許調査については、要注目案件の 5 件以外にも、グレー特許についても知財 G(山中 M)のリソース・知恵を積極的に活用してもらいたい。
- (3) SOFC 事業化については、早く(なるべく 5 月中に)NTT と話を持つ必要がある。(折島 M)

4. 一次伝面型熱交換器

- (1) 高熱・熱交製造からの見積結果を入手。第2次改善で工場原価 158 千円となる。目標は 1/2 の 70 千円。引き続き、設計仕様を更に見直すことで更なる低コスト化を検討する予定。(川上 PE)

5. HTCC

- (1) JAXA 相模原の宇宙用について製造原価(約 300 千円)での販売ができない理由は何か?
 - a. その他宇宙用へのアプリケーションを将来的に検討していただける。
 - b. 担当者レベルでの決裁権限範囲内での販売としたこと。
 - c. 今回も、販売(売りきり)ではなく、評価後返却していただくという条件が付くことなど。
=>本件、販売ができるよう SG-CNT から JFE 製 CNT への切替を急いで推進している。
- (2) 5/31 の ASI 訪問に際し、打ち合わせ内容、ならびに ASI からもらうべき OUTPUT を事前に協議した上で、会議に臨むこと。(高橋教)

6. 潜水艦複合材プロペラ

- (1) 部分構造試験供試体は接着工程開発用の試験供試体のひとつである。
- (2) 接着工程について改善が必要だが、部分構造試験そのものは実施できる。

7. 脚材料関連

- (1) 特になし。

8. 経産省プロジェクト(低炭素社会)

- (1) 4/30 日付け条件付きで採択された。
- (2) 採択通知の正式版が神永社長宛て送付されているか否か確認すること。(高橋教)

9. 降着装置ヘルスマonitoring・プラットフォーム

- (1) 特になし。

10. 材ラボ

- (1) SOFC で LPD 法の採用可否検討のため評価試験を実施中。性能は現時点良好。

11. 知財・技術管理

- (1) 2009 年度創事業研究部の知財取り組み状況の好評が内田 G 長よりあった。
 - a. 調査・監視が不十分
 - b. 出願前の事前調査が不十分
 - c. 出願スピードも他部課に比べて遅い。
- (2) 前野常務より、2010 年度は各リーダがまずは姿勢を正して、全社の見本となるように努力するよう指示があった。

12. その他

- (1) 本年 4 月より航機営業 1 部本務、創事業兼務 東京駐在吉田 M の紹介があった。東京ベースに創事業研究部の新事業に関する種々の調査を行っていただく予定。東京にて情報収集が必要な場合、吉田 M の助けを活用してもらいたい。
- (2) 前野常務の 6 月末常務退任に関連して、挨拶等必要であれば、早めに前野常務に依頼すること。
=>TRI は不要。
- (3) 創事業研究部保有の携帯電話については経費節減の観点から(通信接続により)WEB 利用の自粛とともに、契約内容の見直しを行う。(佐藤 M)

次回6月度の部内会議担当は上森 M をお願いします。

以上.